

参考資料 4

京都府土地利用基本計画書(中間案)に対する意見募集の結果について

平成 29 年 11 月 6 日
建設交通部用地課

1. 募集期間：平成 29 年 9 月 28 日(木)から 10 月 18 日(水)まで
2. 意見募集結果：2 件(5 意見)
3. 意見の要旨とそれに対する府の考え方

	意見の要旨	府の考え方
1	<p>土地利用等府民にとって重要な事案について、公表の検討や各地団体（専門）への通知を願いたい。各地域局ともに現状課題を認識し、問題解決こそがよいまちづくりに繋がるものと考えており、一般府民の声が届くものであってほしい。</p>	<p>計画案の作成にあたっては、学者等で構成される京都府国土利用計画審議会で論議いただくとともに、市町村等へも意見照会し、意見内容を計画案に反映しているところです。</p> <p>また、審議会における議論内容等については京都府HPで公開するなど、府民の皆さまが議論の過程を御覧いただけるようにしております。</p> <p>さらに、今回、広く府民の皆さまの御意見や御提案についても計画に反映させるため、意見募集を行ったところです。</p> <p>なお、本計画は来年 1 月に改定する予定としておりますが、改定後はHPなどにより広く周知していきたいと考えております。</p>
2	<p>(3) 基本方針－ウ 土地の有効な利活用 (非線引きになった旧市街地は先進し府内モデルへ)</p> <p>府域では初の線引き廃止となった綾部市ですが、これを前進させていくためには諸問題の解決が必要になります。例えば、農地法許可制を届出制に簡素化（旧市街化区域）することや、農振地域の見直し、旧市街地の規制強化について緩和されることがまちづくりにおいて非常に重要です。多様性を受け入れる京都府のモデルとして先進させる意識の明記がほしい。人口減少とともに中心部以外は専門知識人も減り、意見もでなくなる危機感があります。</p>	<p>御指摘のとおり、社会経済状況の変化により、都市構造の見直しをしようとする地域が出てきています。</p> <p>本計画においては、特定の市町村のケースをあげるのではなく「(2) 土地利用をめぐる現状と課題－ア 急激な人口減少と超高齢化の進展」において、「地域の状況に応じた都市構造の再編など、地域主体のまちづくりを進めていく必要がある。」という表現で記載しているところです。</p>
3	<p>(3) 基本方針－カ 府民参画による土地利用</p> <p>事業者（宅建専門）は、参画するべきだと考えます。多種多様化する問題に専門知識や経験が必要。各地域局に対する府・市民・事業者等連携・協働を明記できないでしょうか。また、未来を創造する世代を育成するための参画や一般公募枠の参画明記。経験や知識が寄り添わない協議等コンプライアンスの観点からも非常に危うさを感じます。</p>	<p>御指摘のとおり、様々な主体が土地利用の取組みに参画することが重要であると考えております。</p> <p>そこで、本計画においては「(3) 基本方針－カ 府民参画による土地利用」において、「地域住民や市町村など、府民参画による地域の様々な主体が自らの地域の土地利用や地域資源の管理のあり方等に</p>

		<p>ついて検討するなど、地域主体の取組みを促進することが重要である。</p> <p>このような地域による取組みを基本としつつ、・・・水資源や農林水産資源など良好な土地の恵みを享受する都市住民や民間企業等の多様な主体の参画を進める。」と記載しており、ここには御指摘の「事業者（専門家）」等の参画も含まれているところです。</p>
4	<p>2 (2) 中丹地域 (国道への緩和働きかけ)</p> <p>物流拠点に関しては、国道の規制緩和も京都府から訴える必要があります。例えば、国道を掘削できないことにより上下水道が入れられない土地が多い。利用するために必要な処置を講ずると明記されたい。</p>	<p>中丹地域に記載していますが、中丹地域に限らず、中心市街地の再整備など、良好な市街地の整備推進を図ることが重要と考えております。</p> <p>その際、御指摘のとおり、土地利用に際して法律等の規制がかかることもあろうかと思われます。</p> <p>ただ、道路をはじめ公共施設の利活用については、それぞれの管理者が法令等に基づき処分されることから、本計画での言及には限界があります。</p> <p>本計画では、道路等も含めた土地を有効利用する観点から、道路網を活かした物流拠点の整備、物流機能を活かしたまちづくりを進めることとしております。</p>
5	<p>文化首都づくりへ ジャパンハリウッドスタジオ建設企画書</p> <p><u>なぜ(参考候補地)京阪奈ジャパンハリウッドスタジオ建設なのか?</u></p> <p>文化庁も京都に移転し、京都府は歴史と最先端の文化、エンターテインメントの融合する街へと変貌します。</p> <p>京都府には日本映画を引っ張ってきた歴史と伝統のある太秦がありますが、時代劇映画制作本数も減り、京都で働く素晴らしい技術者、スタッフ、俳優、スタントマンの数も減ってきております。</p> <p>京阪奈ジャパンハリウッドスタジオの建設、それに伴うテーマパークとホテル建設により、新たな映画作り、経済効果を見込めます。</p> <p>中国は巨大な制作スタジオをいくつも国内に建設し、ハリウッドを買収、世界マーケットを考えた映画制作を協力して行っています。</p> <p>また自国にハリウッド映画制作の誘致をし、中国人俳優、スタントマン、映画人の育成と輩出、巨額の経済効果を生んでいます。</p> <p>太秦はじめ京都の撮影スタジオと協力し京阪奈ジャパンハリウッドスタジオを建設することにより、京都府にハリウッド映画制作を誘致でき、京都の映画文化の復活につながります。</p> <p>また、映画に映し出された地域は、伏見稻荷大社のように観光名所になっていきます。</p>	<p>京阪奈地域を含む山城地域の土地利用については、京都第二外環状道路(にそと)、新名神高速道路等の整備により交通の要衝の地となりつつあり、産業の集積に資する計画的な土地利用を進めるとともに、戦略的な産業・文化振興及び交流拡大を図ることとしております。</p> <p>京阪奈地域に限らず、府内各地には豊かな自然環境や悠久の歴史、伝統文化が存在しており、それらを活かして持続可能で魅力と活力のある地域を創り上げる「京都流 地域創生」の取組みを進めていきたいと考えており、御指摘のような新たな可能性の追求も地域主体で考えていくことが重要であると考えております。</p>

世界の映画状況と京阪奈ジャパンスタジオ建設の利点

日本映画は国内マーケット中心のビジネススタイルから、世界配給を狙った戦略に変える時期です。

ハリウッド映画、続いて中国映画がビジネス面、文化面で世界を牛耳っています。

特に、中国のハリウッド映画会社買収でのビジネス力の強化、世界でのイメージ戦略には著しいものがあります。

中国は次々に国内にハリウッド級の撮影スタジオを建設し、巨大映画祭を開催。

ハリウッド映画制作を国内に誘致し、取り込み、世界マーケット用の国内映画を制作すると共に、世界に通じる中国映画人を育成しています。

日本も世界に通ずる巨大映画スタジオ、配給を作る時期です。

世界マーケットを狙った日本発の映画やドラマを制作して配給することにより、世界中の方々に日本理解、親近感、訪れたい国、ファンを築き、和を築けます。そうやって成長した彼らが日本を愛し協力してくれると考えます。

また、ハリウッド資本や合作映画の制作により1本数十億、数百億円の治療費が京都府に落ち、大きな経済効果をもたらします。

巨大制作スタジオ、ホテル、テーマパークを築くことにより、新たな京都府の見所が増え、関連事業の雇用も増加します。

またそれに伴う観光を入れるとかなりの経済効果を見込めます。

このスタジオから世界で活躍できる俳優、スタント、制作者を育成できます。

京都、大阪、奈良は長い歴史があり豊富なアイデア、ストーリーを提供できます。

また、この地域は、常に最新の文化を築いてきました。古都のイメージと最新文化を発進するバランスのとれた融合地として世界にアピールできます。

ジャパンハリウッドスタジオの建設により、中国やオーストラリア、ニュージーランド、イギリス、カナダが現在行っているように、巨大なハリウッドマネーの取り込み、世界配給を狙える日本のアニメ、ドラマの実写映画の制作、グローバルに活躍できる日本映画人の育成と仕事先に役立ちます。

日本の映画、ドラマ、アニメの世界配給や、ブルースリーやジャッキーチェーンのような、日本人スターを続々と世界に輩出することにより、中国や韓国にも多くの日本人俳優や日本映画ファンを築け、友好的な関係、相互理解につながります。

日本は、現在著しい映画制作の発展を遂げるオーストラリア、ニュージーランドに近く、USJではたらく外国人俳優、スタントマンも雇え、知識、撮影技術、俳優やスタッフの確保、協力、協賛も相互にできると考えます。

なぜ、京阪奈なのか？

東京は、世界的に大きなビジネスになるアクション映画の撮影困難なうえ、撮影許可の取得が難しいのが現状です。

京阪奈（京都、大阪、奈良）は都会のシーンを大阪、時代劇は京都や奈良で撮影できます。京都には太秦映画スタジオがあり、素晴らしい映画撮影スタッフもいます。素晴らしい時代劇の撮影、世界で人気のある忍者映画、ノウハウを維持するためにも、また新たな試みのためにも必要です。

現在はあくまでも参考地としてですが、京阪奈地域は自由に建設可能な広大な土地があり、関西国際空港、太秦、伊賀も近く、大阪、京都、奈良県、三重県の協力があれば、巨大な映画スタジオの建設が可能です。

京都府だけの建設も可能であるとは、考えます。

ハリウッドや中国のスタジオを見ても、巨大な映画スタジオを一箇所に集中させたほうが合理的で便利です。

例 上海スタジオや Wanda スタジオ

<http://www.wandastudios.com>

建設に携わってもらいたい投資会社

大阪、京都、奈良県の協力、日本の大手映画会社、電通や博報堂、外資系の映画会社（ソニー、ワーナー、ユニバーサル、ディズニー等）、ソフトバンクなどの大手企業、Netflix やアマゾン、吉本興行、京都府の企業など。

脚本と企画の開発

世界に売れる日本を題材にした脚本家の育成と脚本開発。

外国人（ハリウッドなど）の脚本家に日本を題材に書いてもらう。

京都府の映画学科留学生に日本を題材に制作してもらう。

大学では国際脚本コースを設ける。

京都造形大学などの大学の貢献

脚本コースで日本を題材に世界配給ができる脚本作りをしてもらいます。

この作業により、創作視野が広がり、相互理解、日本のアピール点、新たなビジネス感を養え、グローバルな書き手を育成できます。ハリウッドや合作映画用の脚本を多く持つべきです。

脚本コースの留学生の育成。

彼らの視点で日本を題材に映画制作をしてもらいます。

彼らが母国に帰っても日本題材の作品作りをしてくれる可能性が広がり、アピールになります。

国際俳優、映画学科の設立。

海外の監督、映画人、講師を招集しての講義とワークショップ。

アメリカやオーストラリア、ニュージーランドの映画学校との連携。

学生に英語での制作、コミュニケーションに普段から

慣れて頂きます。

世界トップの映画人に触れることから生まれる創作視野の拡大、目標の確固化と拡大、またコミュニケーションにより親しみ、相互理解を生みます。

ここで育成された学生が世界で活躍できる映画人として成長できる可能性は高いです。

京都府にして頂きたい他の協力

映画課の設立。

撮影時の協力。

ハリウッド制作時の税金（中国は40%のタックスカット、オーストラリア等は25-30%カットです）。

アクション映画撮影時の京都府警察への要請等。

ハリウッドのプロデューサー、監督を招待し、京都、大阪、奈良なども含め素晴らしい撮影ロケーションの紹介。

ハリウッドのプロデューサー、監督から、日本で撮影するために必要な設備、環境づくりのアイデアをもらいます。

彼らを魅了し、セールスポイントを理解してもらうことにより、誘致の成功、巨額の制作費、雇用、それに伴う経済効果を生みます。

日本のアニメの権利をハリウッド制作会社に売っているプロデューサー藤村哲哉氏をコンサルタントとして招くことにより、藤村氏の協力でハリウッドのコネクション、日本での制作誘致の成功が高まると考えます。